

(家庭数配布)



土曜参観 ありがとうございました！！

今月3日には土曜参観を行いました。新型コロナが5類に変更になったことに伴い参加人数の制限をなくしましたので、多くの保護者の方にお越しいただきました。ありがとうございました。ただ、校内を見て回りますと、教室に入り切れず廊下でご覧になっておられる方も多く、今後、何らかの工夫が必要かと思いました。これからも、2学期、3学期の参観の他、運動会や学習発表会も予定しておりますので、ぜひお越しいただき、お子様に励ましの言葉をかけていただければと思います。よろしくお願い致します。

なお、職員からもコメントが届いておりますので掲載します。

ご多用の中、参観いただき、ありがとうございました。久しぶりの一斉参観、大勢の方の前での授業に緊張しましたが、子どもたちが普段以上に頑張ってくれ、楽しい授業になったと思います。子どもたちはもちろん、子どもたちのやる気を引き出していただいた保護者の皆様に感謝です。

2年生で「カタカナ」について調べました。サッカー選手の名前で私が知らない人物が出てきた時に、保護者の皆様に助けていただけましたので、滞りなく進めることができました。とてもほっこりした気持ちで子どもたちと土曜参観の時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

非常に多くの方にご覧いただき、ありがとうございました。子どもたちが生き生きと張り切っている姿がとても印象的でした。

3時間目の授業が終わった後、保護者の方と一緒に帰れるということで、子どもたちはとても喜んでいました。

お忙しい中参加していただき、ありがとうございました。子どもたちの頑張る姿を見ていただくことができて良かったです。授業が終わった後、ニコニコして保護者の方のところに向かう姿を見て、かわいいなと思いました。

保護者の皆様、ご参観ありがとうございました。子どもたちの緊張した面持ち、集中してキャッチコピーを考える真剣な姿、いつもとは違うクラス全体の雰囲気…、どれも印象的でした。ぜひ、たくさん褒めてあげてください。

◇校長のつぶやきコーナー

「怒る」「腹が立つ」などの感情について

保護者の皆様はこんなことを考えられたことはありますか？「人はなぜ怒るのか？なぜ腹が立つのか？」と。少しネットで調べてみました。すると、「怒りの感情は、自分の身を守るためにある。」と。分かるような分からないような…、です。

私は次のように分析しています。「怒りの感情の対象となるのは、自分のレベルが相手と同じ、あるいは自分より上に対してのことが多く、下の場合はあまりない。」です。こう考えると、「自分の身を守るため」の理由も、少し納得できるような気がします。

事例を挙げてみます。例えば、道を歩いている時、どこかの犬が自分に向かって吠えてくることがあります。その犬がリードに繋がれていなくて、いかにも噛みついてきそうでもなければ、おそらくほとんどの人はそのままやり過ごすでしょう。「何だ、何だ。」と本気で相手をする人は、まずいません。また、小さな赤ちゃんが自分を叩いてくることがあったとします。この場合も、相手が赤ちゃんなので喧嘩になるはずもありません。なぜ、犬や赤ちゃんを相手にしないのか？それは、自分が相手より上の立場であると思っているからです。もし仮に、このような犬や赤ちゃん相手に怒りの感情が表れる人がいたとすれば、それは（本当に失礼な言い方ですが）犬レベル、赤ちゃんレベルでしかないということになります。

誰でもそうだと思いますが、できれば毎日笑って機嫌よく過ごしたいものです。ところが、私たちは様々な人とのかかわりの中で生きていますので、時には納得がいかず、怒りの感情がわいてくることがあります。では、どうすればよいのか？答えは簡単、自分の人間としてのレベルを上げておけばよいのです。そうすれば、誰が何と言おうと、「犬か赤ちゃんが言っている。」くらいにしか感じられず、怒りの感情が出てくることはないでしょう。

私は自分自身で目指していることがあります。それは「怒りの感情を捨てる」です。私も教師の端くれですので、時には子どもたちに対し、感情を出して指導をすることもあります。しかしそれは、あくまでもその感情を手段として使っているだけで、本気で怒っているわけではありません。また、相手が大人の場合、感情的に話をするにはデメリットしかないと思っています。価値的な対話が成立せず、別の問題が起こってしまうからです。

その他、本人の持つコンプレックスが原因となって、怒りの感情が表れてしまうこともあります。自分で自分に自信が持てていないので、ほんの些細な指摘を自分に対しての激しい攻撃だと捉えてしまい感情的になる。こんな人、時々います。

最後にまとめます。結局、自分なのです。自分を中心に地球が回っているわけではありせんので、思い通りにならないことがあって当然。納得できないことに対し、そのたびに怒ってしまうことは損しかありません。自分自身が快適な生活を送るために、何よりもまず、自らが変わっていくことがいちばんの方法ではないでしょうか。

いつも笑顔でいるために

